



ぶんりだより



「二年の計を大切に」

学院長 小野塚 雅信

新年明けましておめでとうございます。

元旦、時折穏やかに差し込む陽の光を心地良く感じながら、前向きに今年一年の計を立てられた人が多かった事でしょう。年が変わったからといって自身の状況が大きく変わるはずもない事は、幾度も重ねてきた経験から充分に分かっています。新年を祝う人々の笑顔を見たり、そこかしこに飛び交う「明けましておめでとう」という賀詞を聞いていると、何となく今年が良い年になりそうだな、今年はこの勢を頑張ってみようか等、前向きな発想が自然と生まれますね。正月ならではの神秘的な雰囲気醸し出すある種の魔法のようなもので、古来より節目を大切にしてきた素敵な日本文化だと感じます。

この一年をかけて、正月に描いた抱負をひとつでも多く叶えるべく、物事に積極的に挑戦してください。ただし、その挑戦には他者への配慮と感謝の気持ちを忘れてはいけません。人は自信がつくと出来るようになったのは全て自分の力と過信しがちです。もちろん自身の努力の賜物である事に違いはありませんが、そもそも努力してみようと前向きな気持ちが生まれるのは、正月の厳かな雰囲気から自然と気持ちを引き締めてくれる事と同様、他者の存在が直接的であれ間接的であれ大きく関係しているのです。

「ついた餅(もち)より心持ち(もち)」というお正月にまつわる言葉があります。これは、ついたお餅をもちが嬉しいう事、お餅を馳走してあげようと思ってくれた心が嬉しい。つまり、自分の事を気遣ってくれた相手の親切心が何よりも嬉しいという意味です。この言葉のように、些細な事でも何かをしてもらった際には感謝を忘れず、逆に人の為に何かをしようという気持ちも常に持ちながら、自身の出来る事を増やして行ってほしいと思います。本年が全生徒にとって実り多き年になる事を願います。

保護者の皆様、新年を迎えいよいよ今年度を締めくくる重要な時期に入ります。一・二年生は新しい目標を掲げて次年度を始められるよう全職員で残り三ヶ月間を支えて参ります。そして三年生はいよいよ卒業となります。新たな門出を皆様方とともに祝福する瞬間が訪れるまで、気持ちを引き締めて日々の教育活動に邁進する所存です。本年も温かいご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

行事予定

一月

- 八日 学年集会
- 十七日 第三回英語検定(希望者)
- 二十三日・二十四日 三年 卒業試験
- 二十七日～三十一日 通信制試験対策授業



東京文理学院高等部

令和六年度 第四号

発行日 令和七年一月八日

二月

- 二日・三日 通信制試験
- 四日 試験休み
- 五日 二年 進路説明会
- 七日 第三回漢字検定 (三年は希望者のみ)
- 十日・十三日・十四日・十七日・十八日・二十日 一・二年 三者面談
- 十日・十三日・十八日・二十六日 三年 登校日
- 十二日 一年 進路説明会
- 二十一日・二十五日 一・二年 学年末試験
- 二十一日 第四回保護者役員会
- 二十六日 一・二年 試験休み
- 二十七日 一・二年 試験返却日
- 二十八日 一・二年 大掃除

三月

- 三日 一・二年 試験休み
- 四日 三年 登校日
- 四日 卒業式
- 五日 一・二年 試験休み
- 六日 一・二年 修了式
- 十一日～十四日 一・二年 春期講習

一年二組 山口 瑞葵

今回の二泊三日の林間学校では、普段体験することができない様々なことを体験でき良い思い出になりました。

まず、福島県ならではの赤べこの絵付け体験は印象的でした。見本通りに絵付けしなければならぬという訳ではない、というのが逆に難しく、どんな赤べこにしようかと悩みながら絵付けをしました。最初に目を描くときに、横に目があると勘違いして横に描いたりもしましたが、個人的にはそこそ良い出来にはなったと思います。今までやったことのない赤べこの絵付けは、難しかったですが、同時に楽しくもあったので、体験することができて良かったと思っています。

次に、磐梯山の噴火のことは体験ではないものの、これまで自分が抱いていた噴火のイメージとは違う捉え方を知ることができて、衝撃的でした。自分の中で噴火というものは自然災害の一つで、いいイメージは一つもないという感じでしたが、磐梯山噴火記念館に行き、ネガティブな側面だけでなくポジティブな側面もあるということを知りました。過去の噴火によって形成された今の地形があり、中には観光地として機能している場所も多いと知り、噴火に対する考えが自分の中で一新されることとなりました。

終わりに、大内宿での観光は、今までの学校行事での観光とは違ったことを体験できました。観光をするときに、今までは禁止されていた食べ歩きができたことや、同じ班の皆と楽しくお店を回ったりしてお土産を買ったり、最後は集合時間ギリギリになって急いだりもしましたが、それはそれで楽しかったなと今では思っています。今回体験できたことは思い出に残し、ルールを守るなどできたことや、逆にできなかったことは反省して、次の行事に活かしていきたいです。

一年二組 村上 まどか

一日目は、大雨の中、集合場所である清水川橋公園に集まり、雨で濡れた荷物を抱えてバスに乗り込んだ。福島県に到着後は、川内村の体育館で、体育を行った。そこで、体育祭に向けた大縄跳びをした。最初はあまり跳べなかったものの、終盤でリズムよく、連続で跳べたことに大盛り上がりした。

二日目、まずは、磐梯山の噴火を3Dで再現した3Dワールドに行った。

空中に舞う巨石とすさまじい泥流。噴火を予知した動物たちの逃げまどう様子を体感できた。次に訪れた、会津藩校日新館では、幕末の歴史の一面を学べた。最後に訪れた鶴ヶ城では、展望層から見た会津の風景が絶景だった。

三日目は、大内宿と塔のへつりに行った。現在も江戸時代の面影そのままに、茅葺屋根の民家が街道沿いに建

ち並ぶ大内宿で食べた抹茶アイスと天ぷら饅頭は、絶品だった。塔のへつりでは、つり橋から眺める阿賀川がとても綺麗だった。百万年もの歳月にわたる、浸食と風化を繰り返して生まれた「塔のへつり」には、今まで感じたことのない感動を味わえた。

初日は大雨で不安だったけれど、福島の大自然の中で、驚きと感動に満ちたたくさんの楽しい思い出を作れた林間学校だった。クラスメイトとも仲を深められ、お互いの食べ物の好き嫌いも知れて、楽しい宿泊行事になった。

一年三組 菊池 弦

林間学校に行つて、私を感じた感想です。一日目、遂にきてしまった林間学校、家族とさようならして、学校に来ました。この時は早く帰りたい、大丈夫かな...と思いました。バスに乗った時は、うるさいな、眠いと思っていました。体育した時は、疲れたなと思っていました。宿屋に着いた時はやっと着いたと思いました。風呂に入っているときは温かいなと思いました。

二日目、朝起きて色々済ませた後に、赤べこを作っている時、貴重な経験が出来るんだなと感動していました。宿屋を出てから、火山記念館に行きました。噴火の様子を再現して、沢山の貴重な資料を見ることができ、すごいなと思いました。その後、鶴ヶ城に着いた時は、大きく立派で綺麗だと思いました。中に入って見た感

想は、色んな歴史が書いてあるなと思いました。お土産を買って宿屋に戻って二日目が終わります。

三日目、遂に宿屋にさようならをして、大内宿について見て回った感想は、物凄く昭和や江戸時代を感じました。そして、バスに乗って、頑張つて家に帰り、今、感想を書かせていただきました。とても楽しかった三日間でした。

一年四組 高木 魁人

私は十月九日から十一日の三日間、林間学校に行つてきました。一日目は、体育館で大縄跳びをとバスケットをしました。大縄跳びでは一列に並び、五人で六回も跳べたので、次はもっと跳んでみたいと思いました。バスケットは、普段の授業では中々シュートを決めることが出来ませんでした。今回は四本中三本入って嬉しかったです。

二日目は赤べこの絵付け体験や3Dワールド、鶴ヶ城が印象的でした。赤べこの絵付け体験では、クラスメイトの誰とも違う、思い出に残るような作品が出来ました。3Dワールドでは実際に飛び出てくるような感じがしてとても驚きました。鶴ヶ城では、駐車場から結構歩きましたが、お城に着くと余りの大きさに驚きました。中も一本道で分かりやすく、当時の歴史などを学ぶことが出来ました。

三日目では、大内宿に行きました。いろいろなお店を見て回り、お土産を

購入しました。瓦葺屋根が何で今でも残っているのか、興味が出てきました。林間学校で学んだことを十二月にあるスクーリングに活かしていきたいと思いました。

一年五組 中神 七海

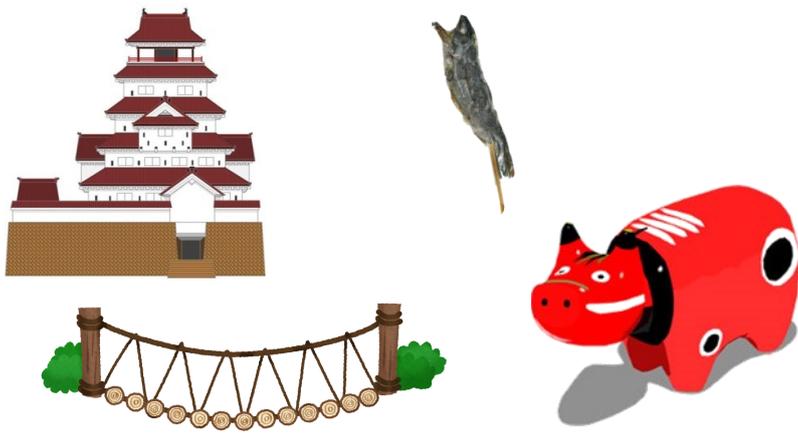
十月九日～十月十一日までの林間学校に行き、色々な体験が出来て本当に良かったです。初日は大雨の中移動して靴の中までびしょびしょで大変でしたが、川内村の本校の体育館で大縄跳びやバスケットボールをみんなと頑張りました。バスケットボールは奇跡的に一回ゴールを入れられて良かったです。初日に食べた夕食はお腹も空いていたしとても美味しかったです。

二日目の福島観光で私が一番楽しかったのは鶴ヶ城です。鶴ヶ城から見た景色が絶景で動画や写真を沢山撮りました。凄く綺麗だったので家に帰ってから家族や色んな人に見せてあげました。福島ならではの自然の恵みを感じることが出来て良かったです。帰りのバスの中では友達とおしゃべりをして皆との仲を深める事ができました。

三日目は大内宿と塔のへつりに行きました。大内宿では班行動で、私たちの班はソフトクリームを食べた後、散策しました。塔のへつりでは、ガイドさんから説明を聞きました。最初私は「へつりって何だろう」と思っていました。吊り橋という意味だと知りま

した。自然の中にあつた吊り橋はとても綺麗でしたが、渡っている時に吊り橋が揺れたので怖かったです。心臓がバクバクしていました。

今回の林間学校で室長をやる事になって最初は出来るのか不安でしたが、同じ部屋の友達がフォローしてくれて無事終わることが出来て良かったです。こういう行事で友達を増やす事が出来るんだなと思いました。友達やこの計画をしてくれた先生方に感謝したいと思いました。



体育祭 作文

体育祭を終えて

朝倉 慎太郎

前日の雨模様とは打って変わり、秋麗と言っても過言ではないくらいに恵まれた天候の中で、今年度も無事に体育祭を行うことができました。

今年度は、今までの体育祭とは異なり、個人種目が少なくなっていましたね。しかし、その分、全体種目の競技が多くなり、必然協力が求められる場面も増してははずです。

新競技であった大玉送りや○×クイズは、まだまだ改善すべき点があったと思いますが、多くの生徒が楽しそうに競技に取り組んでいる様子を本部のテントから窺い、伝統も大事ではあるが、こうした新たな試みを時代の変化と共に取り入れていくこともまた、大切であると改めて感じました。

また、楽しそうに参加する生徒たちの姿以外に、体育委員や美化委員の責任感ある仕事ぶりが特に印象に残っており、とても素晴らしいと感じました。

今年度のスローガンは、「思いを繋ぐ青春のバトン」でした。このスローガンのように、今回の体育祭で結んだ絆や抱いた思いを、ぜひ今後の学校生活へと繋げてもらいたいと思います。また、来年度、再来年度と続いてゆく文理学院の体育祭にも、繋げていってくださることを期待しています。

体育委員長より

三年二組 森田 勇希

今年は、体育委員長というこれまでに経験のない立場で、体育祭を行うことになりました。

体育祭の前まで続いていた雨が、当日見事に晴れたのは、我々の思いが天に伝わったからだと思います。

今回の体育祭は、全員参加の競技が多かったので、よりチームワークを求められ、団結力も増しました。培った経験が、次の紅葉祭にも活かされる、その様な体育祭になったと思います。

個人の競技では、私はクラス対抗リレーに出場しました。走った際、靴が両方とも脱げてしまい、その結果全力で走れなかったことが悔やまれます。

行事を終えてみると、今年は紅組が強かったという印象が強く残っています。どの競技も紅組が優勢でした。私は白組で、手も足も出ないくらい紅組が強かったという感想でしたが、成績発表を行った際、皆も予想通りの反応をしていました。

結果的には、紅組の勝利で終わり、白組の私としては残念でしたが、結果よりも楽しかったという思いの方が大切だと思いました。後輩たちには、文理学院の体育祭を来年度にも引き継いでいってほしいです。



一年一組 嶋岡 正蔵

十月三十一日に、台東リバーサイド陸上競技場で体育祭を行いました。一年一組は紅組で、白組に勝つために、全力でクラス対抗リレーやポールリレーなどに取り組みました。

大縄跳びは、体育祭に向けてクラス全員で練習したおかげで九十四回も跳ぶことができ、一年生の中だけでなく全学年で一番跳ぶことができました。クラス対抗リレーは一番走者になったので、他のクラスに負けないように食いつこうとしましたが、速い人がいて、差をつけられてしまいました。しかし、後の人がリカバリしてくれて、最後には一組が一位になることができました。

ポールリレーも最初に走ることにりましたが、軸になった友達の力が強く、回る時に回りやすく支えてくれました。また、真ん中になった友達も回る時にサポートしてくれて、早く回ることで、一位で次の人たちに繋げることができました。ポールリレーも一組が一位になることができたので、嬉しかったです。

今回の体育祭を通して、クラスメイトと協力することの大切さ、楽しさを知ることができました。中学で参加できなかった文化祭も、クラスメイトと協力して、楽しい文化祭にしていきたいです。

一年二組 吉澤 康介

文理学院に入学してから初めての体育祭に、不安なこともたくさんありましたが、集合時間には遅れずに済みました。また、忘れ物などもなく、とてもいい気持ちで体育祭の日を迎えることができてよかったです。

私は百メートル走に出場し、一位にこそなれませんでした。二位になることができたので、かなり嬉しかったです。また、それ以外の個人競技への出場はありませんでしたが、観戦しているだけでも、とても楽しむことができました。

全種類目の綱引きや大玉送りなどでは、白組が負け続きで可哀想とっていました。白組に教師陣が参戦したことで、「もう同情はしない。徹底的に叩き潰してやらなければ」と思っていたら、紅組が全勝して、とても驚きました。先生方対保護者の綱引きでは、引きずられていく先生方を眺めながらクラスメイトと爆笑していました。

体育祭が終わった後は、美化委員としてグラウンドや座席の清掃などを行い、いい気持ちで体育祭を終えることができました。最後まで、大きなトラブルなく終えることができて本当によかったです。

一年三組 森下 菜々実

十月三十一日は体育祭でした。当日までドキドキとわくわくした気持ちでした。高校に入学して初めての体育祭だったからです。

その日の朝は窓を開けると気候もちょうどよく天気も良く、体育祭日和でした。お弁当もいつもより多めに用意してもらいました。約束の時間に会場に集まりさらに緊張感が増してきましたが、プログラムがスタートしてから、クラスメイトたちが活躍してくれて、私も頑張ろうという気持ちになりました。

大玉送りは小学校以来でも懐かしめ、綱引きはこれまでの学生生活では初めての競技で楽しかったです。最初一回戦は赤が負けてしまいましたが、逆転で勝ちました。追いかけて玉入れは先生に追いつき三回くらい玉を入れることが出来ました。

お弁当の時間になると、いつもよりお腹もすいていて、とても美味しかったです。そして見上げると、目の前にスカイツリーが見えてとても良い気分になりました。

紅組が勝利して、みんなと一生懸命取り組んで、体育祭に参加できて良かったと思います。また来年も頑張ります。



一年四組 本橋 武衛

十月三十一日、晴れやかな青空で体育祭が始まりました。最初は百メートル走を行いました。直線だけの勝負だったので驚きました。結果は四位で悔しい気持ちもあり、次こそは一位を取ってみたいです。

その後大玉送りが始まり、自分が想像した大玉送りと違って皆で渡す方式なので驚きました。その後、〇×クイズを行いました。その後、三問目で脱落し、悔しかったです。大縄跳びでは、練習の時ほど跳べませんでした。楽しむことが出来ました。そして、クラスメイトが走るクラス対抗リレーを応援して無事に午前の部は終了しました。

午後からは綱引きを行いました。綱引きは今までやったことが無かったので楽しみにしていました。結果的には二戦目で一度だけ勝つことが出来ました。二戦目で一度だけ負けました。その後、ポールリレーを行い、練習の時みたいになんて上手くできました。

僕が参加した競技はこれで終わりましたが、先輩達が出ていた種目を応援しました。最初は不安もありましたが、とても良い思い出になりました。来年も、さらに良い体育祭にしていきたいです。

一年五組 西山 莉人

前日の強風を心配していましたが、当日は朝からとても良い天気でした。体育委員の集合時間に間に合うように、六時半に家を出ました。一人で浅草まで初めて行くので少し心配でしたが、無事に着きました。

みんなで準備をして開会式が始まりました。百メートルは全力で走り、二位でした。大縄はクラスで力を合わせて飛び、大玉送りは白組全員で頑張りました。○×クイズは、初めは簡単でしたがだんだん難しくなりました。午前の部最後のクラスリレーは必死に走りました。バトンパスも上手くできました。お弁当は、クラスのみんなとスタンドで食べました。

午後は綱引きから頑張りましたが白組は負けてしまい残念でした。ポールリレーでは人数合わせて三回走りしました。その後、フィールドで体育委員の仕事しながら見学をしていました。

最終的に、白組は負けてしまったけれど、来年も全力で頑張ろうと思いました。体育委員の仕事もとても楽しかったです。



二年一組 坂尾 仁朗

十月三十一日木曜日に体育祭が行われました。前日まで雨が降っていましたが、当日は晴れていて、体育祭日和のとても素晴らしい天気でした。

僕は、今回の体育祭の中で印象的なことが三つあります。

一つ目は、大縄です。僕のクラスは体育の練習で数十回と結構跳べていたこともあり、今回は全員が跳ぶことに加え、優勝も目指していました。本番も練習以上に跳ぶことができ、優勝を期待していたところ、一年一組が私たちよりも三十回近く多く跳び、優勝でした。残念でしたが、全体二位は取れたので、とても嬉しかったです。

二つ目は、クラス対抗リレーです。学年一位を目指して、一生懸命に走りましたが、一位を取ることができませんでした。それでも、全力を出すことができ、とても楽しめました。

三つ目は、棒引きです。綱引きの容量で、全力で走り、一生懸命に走りました。しかしながら、とにかく紅組が強く、歯が立たず、勝つことができませんでした。それでも、一本は棒を取ることができて、良かったです。

今回の体育祭は、たくさんの競技に参加できてとても良い思い出になりました。来年こそは、大縄一位と総合優勝を目指したいと思います。

二年二組 黒田 穂乃佳

高校二度目の体育祭は、たくさんの思い出を作ることができた、最高の機会になりました。中でも、特に印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、体育委員の役割として経験することができた、放送の仕事です。話すことにあまり自信がなく、実は当日まで、上手にできるのか不安でした。しかし、実際にマイクに向かって話し始めてみると、とても楽しく、体育祭の臨場感も間近に感じられて、「青春している」という感覚を強く感じることもできました。苦手なことや嫌いなことでも、勇気を持って取り組んでみることで、克服に繋がりが、楽しい体験に変えられるのだと気付きました。この経験は、一生の思い出です。

二つ目は、大縄についてです。大縄の練習は、体育祭前に何度か練習する機会がありました。なかなか思うように跳べず、このままでは、当日もきつとあまり跳べないだろうと思ってしまうていました。しかし、本番になると、皆の気持ちが一つになり、初めて、良い調子で跳ぶことが出来ました。その結果、表彰状まで貰うことができました。驚きと嬉しさが混ざって、上手く受け止めきれず、不思議な気持ちでしたが、今思い返してみると、幸せな気持ちになれる良い思い出となっています。

最後に、来年が最後の体育祭となり

ますが、悔いの残らないよう、今年以上に、全力で楽しみたいと思います。

二年三組 鈴木 啓真

今年度の体育祭では、体育委員会の副実行委員長を務めました。当日の役割は、体育祭開会の言葉でした。リハーサル時から多少の緊張はありましたが、本番では準備した言葉をしっかりと伝えられたので、本当に良かったです。体育委員会全体へ目を向けても、皆が一生懸命にテキパキと準備をしていて素晴らしいと感じました。

私は、大玉送り、○×クイズ、綱引き、棒引きに出場しました。どの種目も、とても印象に残っています。それは、昨年度の競技では勝つことができなかったからです。今年度は勝てる機会が増えて嬉しく思いました。大玉送りの一体感はとても心地良くて、全力を尽くすことができました。棒引きでは、始まる前にどの棒を何人で取りに行くかなど、しっかりと話し合ったことで多くの棒を獲得できました。

クラス全体で協力して競技を進める場面が多かったので、時には意見の相違もありましたが、次の体育祭は騎馬戦等の競技が増えるので、今回の反省を活かしていきたいです。来年は高校生活最後の体育祭です。皆と一緒に、最高の体育祭を作り上げたいです。

二年四組 本吉 利衣菜

十月三十一日(木)に台東リバーサイドスポーツセンターの競技場で、体育祭が行われました。昨年は、高校で初めての体育祭で、とても楽しかったので、今年も期待していました。

初めの競技は、百メートル走でした。友達が出ていて、たくさん応援しました。私は応援をしたことで、勝負心に火がつき、自分の出場競技も頑張ろうと思いました。

その後、全学年での大玉送り、○×クイズ、大縄跳びをしました。その中で大縄跳びは、昨年も挑戦したので、今回はさらに良い記録が出せるのか、とても緊張していました。私は後半に跳びましたが、連続で跳ぶことができ、さらには、昨年度以上の記録が出せたので、嬉しかったです。

そして、ついに、私が出る競技のクラス対抗リレーに出場しました。競技が始まり、待っている間に、バトンパスなどの練習があまりできなかったなどの不安がありました。そんな考えも吹き飛ばすくらい、一生懸命に走りました。あまり良い順位ではありませんでしたが、一生懸命に走ることができたので、晴れ晴れとした気持ちでした。

お昼は、おばあちゃんが作ってくれたおにぎりを食べ、温かい気持ちになり、午後の部になりました。午後の部は、綱引きと追いかけて玉入れに出場

し、一生懸命に取り組みました。

閉会式では点数の発表があり、負けてしまいました。来年の体育祭に期待して、今度は勝てたら嬉しいです。



三年一組 梁瀬 志麻

十月三十一日に高校生活最後の体育祭が開催されました。今年の体育祭は天候が心配されていましたが無事に晴れ、青空の下で皆の笑顔が輝く一日になりました。特に、大縄や綱引きでクラス全員が一丸となって力を合わせる瞬間が印象的で、勝つ為に周りの仲間と声を掛け合い、自然とチームワークが生まれていました。

保護者と先生方の綱引きは普段見ることができない、それぞれが力を合わせる姿がとても新鮮で、感動して応援に力が入ってしまいました。紅白対抗リレーでは、バトンを繋ぐたびに皆の応援が響いていました。

また、今回は新競技が追加され、皆慣れない中で一生懸命に取り組んでいる姿を見て、体育祭がより特別なものになったと感じました。特に印象に残ったのは、○×クイズです。知識を競う競技だったので、普段はあまり意識していないようなことを皆で考えながら答えを出すのが楽しかったです。

体育祭を終えて、皆で協力したり一緒に盛り上がるのができ、一つの目標に向けて全力を尽くして頑張ることができたと思います。高校生活三年間で最後の体育祭として、忘れられない思い出深い一日になりました。

三年二組 大葉 秀

私は、今回の体育祭で良い思い出を作ることができました。競技について、私は全員競技に加え、クラス対抗リレーにも出場しました。

全員種目の大玉送りは、初めての種目で難しかったです。コースの先に並ぶのがうまくいかず、コースアウトしそうになったことも何度もありました。結果は惨敗でしたが、それも良い思い出だと思います。綱引きは、紅組の方がパワーがあり、白組には先生方が助っ人として手伝ってくれました。ですが、それでも力の差は埋まらずこれもまた惨敗でした。

大縄では、なかなか跳べなかった私たちが、少しずつ跳べるようになり、感動しました。結果はどうあれ、最後までやりきる事が大切だと思いました。

そして、クラス対抗リレーについて

ですが、初め、クラスで出場者を決めたとき、クラスメートに推薦され、半ば仕方なく出場しました。当日、いざ出番が来ると、とても緊張して、足が震えていました。走っている途中、他のレーンの方と足が絡まり、転んでしまいました。ですが、頑張る仲間のことと頭をよぎり、すぐに立ち上がり、バトンを渡しました。走り終わったころには、走る事ってこんなに楽しいんだと実感しました。結果は最下位になってしまいました。それでも楽しかったことには変わりはないです。

こうして、体育祭が成功した一番の理由はみんな協力できたことだと思います。最後までやりきると同じ思いを持った人たちが力を合わせることで大きな力になると感じました。そして、うまくいかないこともありましたが、私が転んだ時にできた左手の傷は、一生の思い出です。これからも諦めずに最後まで進み続けます。

三年三組 三木 康太郎

「体育祭を開会します。」晴天の中、この開会宣言とともに、体育祭が開催された。

私が出場した競技は、団体競技を含めて七種目あった。その中には、大玉送りや○×クイズなど初めて行う競技もあった。その中で私の印象に残った競技が二つある。一つ目は、大縄跳び

だ。今まで大縄跳びを体育祭で行ってきたが、優勝したことはなかった。特に三組は練習で上手くいくが、本番に弱い所があったため、とても不安だった。グラウンドに並び、ピストルの合図とともに、大縄跳びが始まった。私は跳びながらとても驚いた。練習の時の連続で跳んだ回数を超え、二十回連続で跳べた。そのままの流れで、回数を伸ばすことができ、三年間で初めて、学年一位をとることができた。

二つ目は、紅白対抗リレーだ。参加する競技でアンカーを任された。また、二百メートルを走るという経験も初めてだった。一年生がスタートラインに立ち、リレーが始まった。最初の方は接戦だったが、七走目あたりから、私のチームが他のチームと差をつけて一位となり、私にバトンが渡った。最初の百メートルは力をセーブしながら走り、残りの百メートルは全力で走った。途中でできつくなってきたが、先生と友達の応援の声が聞こえ、最後まで走り切ることができた。そのまま一位でゴールし、とてもうれしく、よい結果で終わってよかった。

高校生活最後の体育祭は、初めてのことに挑戦し、最後までやり切れたこと、団体競技で協力する大切さを知ったことなど、多くのことが学べた。今後この経験を忘れずに、様々な所で活かしていきたいと思った。

三年四組 峰岸 巧弥

十月三十一日は、高校生活最後の体育祭でした。今年から競技が大きく変わり、個人競技より、団体競技が多くなり、チームプレイが増えました。

最初の団体競技の大玉送りは、各組が学年を超えて一つになり、団体競技の素晴らしさを実感しました。一年次は一回しか跳べなかった大縄跳びは、三十回以上跳び、三年間で一番良い結果でした。クラス対抗リレーは、一位を目指して自分たちで走順を決め、臨みましたが、残念ながら、悔しさが残る三位でした。

三年男子の綱引きは紅組と白組で人数差があったため、白組に男性の先生方が入りました。それでも紅組がストリートで二勝し、嬉しかったです。騎馬戦では、土台となる騎馬に背の高いメンバーを揃え、私が騎手を務めました。周囲から最強の騎馬と言われ、プレッシャーはありましたが、背の高い騎馬だったので、上から帽子を奪い、紅組が勝ち、達成感を得られました。

最後の競技である紅白対抗リレーでは、紅組のアンカーとなりトラックを一周走りました。最後のコーナーに差し掛かった瞬間、左足がつり、とても辛くなりましたが、二位でゴールすることができました。

今回の体育祭を通じて一致団結することの大切さを改めて感じ、心に残る良い思い出となりました。

文化祭 作文

文化祭を終えて

田辺 駿樹

今年度の文化祭スローガンは、「花様年華」心を燃やせ！最高の文化祭へ」でした。各フロアの装飾は細かい部分までしっかりと作り込まれており、とても煌びやかに仕上がりました。また、当日は、たくさんのお客様に対して丁寧な接客を行い、大いに楽しんでもらうことができましたね。結果として、今年度のスローガンに遜色ない最高の文化祭を、自分達の力で作り上げることができました。文化祭を成功できた要因を考えたと、目標を持って取り組んだから、皆と協力できたから・・・など、色々と思いつかびますよね。一方で、苦労したこともあったと思います。その苦労をどのように乗り越えたのかも、是非考えてみてください。これらの振り返りが、一・二年生であれば今後の学校生活に、三年生であれば次の進路先での生活に活かせるはずです。

最後になりますが、文化祭を成功させるための地道な準備、当日の接客、また、文化祭実行委員会としての仕事など、それぞれの生徒が任された役割に対して責任感を持って取り組んでくれたからこそ、素晴らしい文化祭になったと私は考えます。皆さん、本当にお疲れ様でした。残り少ない今年度の学校生活も、毎日を大切に過ごしていきましょう。

文化祭実行委員長より

三年四組 金城 舞翔

私は、高校三年間、文化祭実行委員会に所属してきました。一年生のときは本部のプログラム担当、二年生のときは文化祭副実行委員長を任せられました。そして、今年度は、文化祭実行委員長として行事に臨みました。三年間の文化祭を通じて、頼られることの嬉しさや、責任を持って物事に取り組むことの大切さを学び、大きな達成感を味わうことができました。

今年度の文化祭に向けた準備は、夏休みから少しずつ始まり、文化祭当日の一ヶ月前から本格化しました。本部としては、文化祭までの残り日数を皆に知らせるためのカウントダウンモニターや、玄関に掲示する文化祭スローガンなどを作成しました。それと同時に並行でクラス企画の準備を進めたので、とても大変でした。

文化祭当日、実行委員長として、文化祭の開会宣言と五階大教室のステージ発表の司会を担当しました。どちらも、昨年度までの経験があったので、自信を持って取り組みました。

文理学院の文化祭は、各学年・クラスの皆、文化祭実行委員の皆で作りました。今回の経験は、私にとって最高の思い出です。一・二年生の皆さん、今年度の文化祭も素晴らしいものにしていきましょう。応援しています。

一年一組 浦野 唯音

今年初めて生徒として参加した紅葉祭。私たちのクラスでは「不思議の国のアリス」をテーマに、皆でゲームや装飾を考えて創作し、当日に挑みました。そんな学校行事の醍醐味の一つである一大イベントを通して、学んだことが多くあります。

開催から二日間、私はモグラたたきと、ダーツの得点記入、景品の手渡しを担当しました。当日には途中でルール変更があったり、台本通りにはいかないこともあったりして、アドリブ力が試されるイベントだったように思います。それでも売り上げも上々に大成功を収められたのは、クラスの皆で一致団結し、準備期間にも友人間のトラブルが起きることなく開催することができたからです。何より、来場されたお客様やご家族から「楽しかったです」と声をかけてもらえたことが、自分の仕事への自信に繋がりと、頑張ることができました。準備期間での買い出しでクラスの皆と話したり、他クラスで今まで接する機会がなかった人と会話を交わすことができたのも嬉しかったです。

全てが良い方向へと進んだようにも思える文化祭でしたが、反省すべきこととして、シフトの入れ替えが順調にいかなかったという問題がありました。それにより、長時間シフトに入ることになった人や、あまり他のクラスへと行けなかった人の話も耳にしまし

た。今回は人員不足が起きることのないよう、開催時の状況を事前に想定し、担当のブース以外のゲーム内容の把握や、最低人数より二人ほど多く人員を配分しておくなどといった配慮をしておくことが重要だと考えました。

今回の紅葉祭のスローガンであった「花様年華 心を燃やせ！ 最高の文化祭へ〜」の言葉通り、誰もが一生懸命に取り組んで、接客する大変さと楽しさを同時に学んだり、逆に自分が客として店を訪れた際のコミュニケーションの取り方を知ることができたりと、学びの多い最高のイベントだったと思います。良かったことも反省すべきことも、来年の文化祭や、日々の生活の中でも活かせるように覚えておきたいです。

一年二組 角 理穂

準備では主に、看板を作ったのですが、まさかすべて一人で作ることになるとは思ってもみませんでした。看板のほかには、装飾に使う折り紙を休み時間に折ったりもしました。昔から、図画工作が好きだったので、来年、再来年の文化祭の準備も楽しみます。

そして、文化祭当日。初日から、私のシフトの時間だけでも、百人以上のお客さんが来てくれました。二日目のシフトでは、初日よりお客さんと話す機会が増え、緊張しましたが、徐々に慣れていきました。ですが、まだ言葉足らずなところが目立ったと思いま

す。結局二日間で、千人近くのお客さんが来てくれたそうです。他クラスの装飾もそれぞれ違った工夫がされており、並んでいる間も見えて楽しめました。食べ物もどれもおいしかったですし、ゲーム企画もどれも楽しかったです。私が美術部員として展示した絵には、改善してさらに良くできそうな所がまだまだあったので、今後の課題にしていきたいと思います。

文化祭を通して、ほかの人と関わるるときには、周囲と協力することを意識していました。しかし、どれだけ表に出せていたか、自分にはわからないので、今後にも常に言葉遣いなどを意識していきたいと思えます。

一年三組 鈴木 優花里

私は與座さんと森下さんと森原さんと沢山の教室を回りました。初日は一年二組に行きました。二種類の千本のくじを引きました。どっちとも十点で合計は二十点でした。お菓子も貰えて嬉しかったです。次に、二年三組のやきとりを食べに行きました。とってもおいしかったです。もともとねぎまを食べました。一年三組のフォトスポットは無料なので、スマホに写真を撮ることができました。お互い可愛い写真ができてよかったです。

二日目は、私と與座さんは演劇部に出演しました。話は「満月だよ！チャージャー」です。私は、ちょい役に出ました。緊張したけど、大きな声で発表しました。終わって自分は、頑張ったなど達

成感がありました。次は、どの話をやるのか楽しみです。

他には、音楽部を観ました。モニターの動画を観たり、ライブを観たりしました。特によかったのはDJです。いろんな曲が流れて楽しかったです。とても元気になりました。ライブが終わって、次は一年一組に行きました。三種類のゲームに挑戦しました。その中でもぐらたたきが楽しかったです。速くたたくことができました。

文化祭を通して文理学院の友達と仲良く思い出が作れてとても嬉しかったです。来年はどんな出し物があるか、スローガンは何なのか楽しみです。

一年四組 中村 竜也

私たちのクラスは、今回の文化祭でどんな企画にしようかと、みんなでアイデアを出し合いました。最終的に私たちのクラスはポトルフリップをすることになりました。大人から子供まで人気がありそうだったからです。

それから、班ごとに役割分担をして、ペットボトルに水を入れて壁に飾りをしました。準備が進むにつれて、クラス全員が丸となって働く姿に、私はとても感動しました。普段あまり話すことがないクラスメイトとも、自然にコミュニケーションを取ることができ、すぐに仲良くなれました。また、みんなで作業をしているときは、笑い声や楽しそうな会話が絶えず、ま

るで一つの大きなチームのように感じました。

文化祭当日、ボトルフリップは上手にできませんでした。みんなで協力しながら乗り切ることができました。

お客様から「楽しかったよ!」と言われるたびに、すごく嬉しくて、疲れも吹き飛びました。ボトルフリップしてるときには、なんだか自分もやりたいなと思う気分になり、とても楽しかったです。また、他のクラスのくじもやり、とても楽しむことができました。友達と一緒に過ごした時間や、他のクラスの活動を見て回るの、文化祭ならではの楽しさでした。来年の文化祭も楽しみです。

一年五組 喜多 千遥

十一月三十日と十二月一日の二日間、文化祭が行われました。初めての文化祭だったので、私は不安や緊張に包まれていましたが、だんだんと緊張がほぐれて、当日はほどよい緊張感の中、楽しく過ごせました。

心に残った企画は、二年二組のキュンキュンバナナです。温かいチョココレートの中にマシュマロが入っていて、口の中にとろける甘い味わいが広がり、とてもおいしかったです。バナナを包んでいるイチゴチョコにデコレーションがされていた部分も、かわいかったです。

次に一年三組のフォトスポットです。素敵な装飾や絵が飾られていて感

動しました。天使の絵がとてもフワフワしていて、見ていただけ嬉しい気分になりました。特に私は、段ボールで作られたハートの折り紙がとても気に入りました。

そして、私の所属する演劇部の「満月だよ!チャーリー」は、今年の夏から練習を続けてきました。本番は、お客様が沢山いる中で発表したので、とてもドキドキしていました。

この二日間の楽しかった文化祭で学んだことを、他の行事や授業にも生かしていけたらいいと思います。来年の文化祭でも協力して、いろんな活動を頑張っていきたいです。



二年一組 山下 隼飛

文化祭に向けて、かなり前の段階から準備を進めてきた。まず初めは、装飾箇所を大きく3つに分け、グループ分けを行った。私は「壁」の担当になり、壁に貼り付ける装飾や小物を考え、飾り付けをするようになった。しかしながら、担任の先生からの要望で、受付から厨房へ注文を流すルールを作ってほしいと言われたため、その作業に全精力を費やすこととなった。ルールとは、カプセル内になんかの装置である。私は、すぐに完成するだろうと思っていたのだが、段ボールの耐久性の問題で、上手いこと傾斜が作れず、かなり苦戦した。かなり前から作成しているにも関わらず、文化祭が近づいても完成せず、一日前に何とか完成することができた。

文化祭一日目、想像以上に店が繁盛し、怒涛の忙しさだった。私はルールが壊れないか心配だった。案の定、何回か止まったが、修正しながら最後までもってくれた。二日目は、一日目を上回る忙しさであったが、昨日の経験を活かし、皆で頑張った。最後はルールも壊れてしまったが楽しい文化祭だった。

月間目標の、協力して行うことに関しては、達成できたと思う。また、視野を広く持って、落ち着いて作業することが大事だということを実体験から知ることができた。これらの経験を、今後の学校生活でも活かしていきたい。

二年二組 宮井 勇多

今回の紅葉祭での思い出は、大きく分けて二つあります。一つ目は、クラス企画で、キッチンを担当したことです。今年のクラス企画は、チョコバナナでした。企画名は「キュン♡キュンバ・バ・バナナ」です。クラスメイトの仲間と一緒に、協力してチョコバナナを作りました。シフトに入った時間が丁度お昼時だったことも手伝って、沢山のお客様が来てくださいました。長い時間お待たせしてしまふことを申し訳なく感じながらも、精一杯チョコバナナを調理しました。仲間と協力しながら、効率よくキッチン作業をすることができ、とても楽しかったです。

二つ目は、友人と一緒に文化祭のお店をまわって楽しめたことです。一人ではまわるよりも、はるかに充実した体験ができました。楽しくお話をしているら、あつという間に自分たちの順番がまわってきます。なので、並ぶ時間も全く苦になりませんでした。それどころか、普段改まってゆつくりと会話だけを楽しむ時間はなかなか取れないので、これを機に、様々な店に並んで待ち時間に話をしたり、同じものを買って食べたりして、一層友人との絆を深めることができました。

クラスメイトと協力し合ったり、装飾を創り上げた体験を通して、コミュニケーション能力と先を読む力が強化されたと感じています。この力を活かして、来年の紅葉祭も頑張りたいです。

二年三組 澤 唯人

高校生活二度目の文化祭は、昨年度の経験を活かしながら準備を進めました。何の食べ物も企画として提供するか、どんなテーマでどのようにに飾り付けていくのかを皆で話し合い、計画立てて決めました。準備期間を経て、教室があつという間にレトロな飲食店をテーマにした雰囲気になったので、やりがいを感じました。

文化祭当日は、どれくらいのか来場者が足を運んでくれるのか、ワクワクしながら始まりました。始まってすぐに、多くの方が串焼き文理店の焼き鳥を頼んでくれたので、とても嬉しくなりました。初めてシフトに入ったときは、いつまで経ってもお客様の列が途切れることがなく、忙しくて焦りましたが、頑張つてやり遂げることができました。

展示団体の出し物はとても面白く、飲食団体の出し物はどのクラスもおもしろかったです。玄関口から大教室まで、学校全体が賑わっていたことがとても印象的でした。

そして、二年三組の串焼き文理店の焼き鳥は、準備していた千二百本の焼き鳥全てが完売したことに驚きました。文化祭を通じて友達との絆が深まり、協力することの大切さを実感しました。この経験は今後の学校生活や社会に出たときにも役立つものだと思います。来年度の文化祭も楽しみます。

二年四組 加藤 悠成

十一月三十日と十二月一日に紅葉祭が行われました。一週間前から準備が始まり、まずは近くのお店に両手いっぱいになるほどのダンボールをもらいに行きました。一苦労でしたが、友達と一緒にだったので楽しかったです。また、教室の装飾作りでは、クラスをまとめる現場監督をしました。手が足りない所を手伝い、手伝いが無い時は、壁に貼るビルの絵を何枚も描きました。時間を掛けましたが、もつと上手に描けたら良かったと思います。

紅葉祭当日、二年四組は、ホットドッグの企画で、どの時間帯も大盛況で嬉しかったです。僕は、注文票を受け取る係になり、多くのお客さんと関わることができました。接客は、とても楽しかったです。他にも、焼きそばやパフェを食べに行き、さまざまなクラス企画を楽しめて大満足でした。

翌日の後片付けは、みんなで一生懸命に作った作品を壊すことに、少し心が痛くなりました。しかし、みんなが良い企画を作つて、多くのの人に喜んでもらえたので、達成感でいっぱいになりました。

僕は、このクラスで最高の紅葉祭ができて、本当に良かったです。三年生では、今回よりもさらに良い企画にしたいと思います。



三年一組 柴田 敏光

私は今回の文化祭について、例年よりも積極的に活動したことで、自ら考え行動することの大切さを学ぶことができました。初期の企画段階から話し合いに意見を出したり、教室レイアウトを作成したり、必要備品の調査(価格調査)を行ったからです。

私はクラス企画の準備が始まったときから複数の調理企画を提案しました。例えばピザトーストやおにぎりなどの案を出しました。クラス企画がトツポギに決まった後は、飲食スペースの机とイスの配置を先生と友人と考えました。また、それと並行しながら百円ショップを周りメニュー表なども作っていました。そして迎えた文化祭当日、一日目は予

行練習が不足していたこともあり、接客に時間がかかったり、急遽整理券を発行するなど慌ただしかったです。二

日目は、モニターの動画をYouTubeのトツポギに関する動画から私が編集したクラス企画の紹介動画に切り替えたり、整理券を新たに準備したりと改善を大幅に加えました。多くのお客さんに来てもらうことができました。

今回の文化祭は全力を尽くしたものの、詰めが甘い点があり、大成功とは言えない部分もありました。ただ、普段は指示待ちだった私が自ら積極的に参加した行事となり、大きな達成感がありました。今後も自ら案を出し、行動することを心がけていきたいです。

三年二組 小川 花美

十一月三十日と十二月一日に紅葉祭が開催されました。十一月初旬から準備を始めました。そこから放課後を使い、計画的に準備を進め、二十六日からは終日準備にとりかかりました。

早い段階からクラス内で役割分担をして、準備を進めていきました。私は企画の担当になりました。企画は、企画書の作成や、予算の管理、クラス全体の進捗管理をする担当です。他にはゲーム、オブジェ、景品、装飾のグループがありました。これらの四つのグループを企画チームの三人で管理しなくてはなりません。私は主に、ゲームと景品を担当しました。二つのグループの進行度合いをチェック

したり、当日のことを想定して準備をするなど、大変でしたが、少しずつ完成に近づくにつれ、楽しさも感じることもできました。

ゲーム班では、ゲームの制作に携わり、ダンボールで初級、中級、上級の三種類のゲームを作りました。難易度の調節が難しく、苦戦しました。景品では商品の準備をしたり、ラストワン賞などの特別賞を用意しました。中でも、通販サイトでの注文が大変でした。予算内で必要個数を用意できるように計算することに苦労しました。忙しい準備期間でしたが、無事に全ての準備を終えることができ、達成感がありました。

当日は、予想外のハブニングもありましたが、冷静に対応することができました。自分のクラスの企画はもちろん、他のクラスの企画もどれも楽しく思い出に残りました。特に、二年一組の焼きそばが思い出に残っています。大人気で自分のシフトの時間が来てしまい、最後まで並べませんでした。焼きそばを諦めていたところ、最後に二年一組の担任の先生がデリバリーをしてくれ、とても嬉しかったです。

私たち三年生にとって、最後の文化祭でしたが、最後に相応しい思い出に残る文化祭となりました。



三年三組 西田 楓生

私たちのクラスは今までやったことのない飲食店を出し、和風ソースがかかったパフェを提供した。今年度の文化祭は、今までと違って、高校生活最後の行事ということもあり、九月ぐらいいからクラスで話し合いをして、進めてきた。そのおかげで、かなり早く、準備を進めることができ、前日の午前中には、完全に装飾を終えることができた。特に、おもちゃの刀を先生が買ってきてくれたため、その刀置きをダンボールで、作ったことと、一文字ずつ筆で書いた、書道作品がとても印象に残った。

当日は、クラス企画のシフトでちゃんとやれるか不安はあったが、今までの経験があったため、それよりも楽しみの方が勝っていた。私は一日目の最初にクラス企画のシフトに入っていたこともあり、あまり慣れないため、少し難しかったがみんな協力して、お客さんをあまり待たせずに、提供することができた。また、美化委員にも所属しており、シフトの時間が終わるとすぐに活動があり、少し大変だった。

その後は、他のクラスの企画を見て回った。印象深く残ったものをいくつかまとめると、まず、三年一組のトッポギと二年四組のホットドッグがとてもおいしかった。また、三年二組のボールを使ったゲームや三年四組の射的が楽しかった。そして、五階大教室で行われた、選択科目空手の瓦割りは

迫力があり、感動した。

二日目もシフトに入っていたが、前日の反省を活かしたおかげで、前日より更にスムーズに提供できた。最後の文化祭となったが、思い出に残るとてもよい行事になり、本当によかった。

三年四組 吉村 海斗

私は、文化祭実行委員での活動とクラス企画を通して、様々な思い出をつくることができました。

文化祭実行委員の活動は、夏休みから始まりました。そのなかで、今まであまり話をしたことのないクラスメイトと話しをして仲良くなり、とても楽しく作業をしながら、5階大教室の装飾が完成しました。

クラス企画の射的では、的や銃を撃つ位置やルール、景品などクラスメイトと話し合い、決めました。難しかったのは、銃を撃つ位置の調整でした。クラスメイトとどの位置から銃を打てば、上手く的に当たるかを何度も試しました。色々な意見が出て、来場者が楽しめる企画になり、想定以上の来場者に喜んでもらえました。

文化祭当日は、最初に、友達と他のクラス企画を見て回り、行きたい企画の計画を立てました。その後、実行委員の受付を担当しました。来場者の受付担当だったので、大変緊張しましたが、無事に役割を終えることができ、ほっとしました。そして、クラス企画で、射的の補助をしました。廊下まで並ぶほどの多く

の来場者に、驚きました。あまりの忙しさに、担当の時間があっという間に過ぎていきました。最後に、友達と他のクラス企画を回って、文化祭を楽しむこともできました。

進路活動の関係で一日目のみの参加となりましたが、昨年度以上にクラスみんな協力し作り上げた企画が大好評でした。やりがいと達成感を感じ、心に残る高校生活最後の文化祭となりました。



漢字検定合格者

一年一組

池田 陽大 大原 純平
岡村 音緒 北嶋 莉子
佐々木 直 嶋岡 正蔵
関根 心 滝口 玲央
友田 翔太 新山 一成
山口 瑞葵 八幡 恵菜

一年二組

伊藤 煌太 杉山 悠太
野溝 陸 藤原 和人

一年三組

阿部山 純 太田 煌士
野際 称芭 森下 菜々実

一年四組

井垣 直哉 高島 駿
原田 知輝

一年五組

喜多 千遥 橋上 凌典
服部 弥侑 花輪 風凜

二年一組

阿部 隼万 中山 深桜
松井 啓泰

二年二組

小澤 愛

二年三組

内海 拓翔 鬼頭 飛悠
九澤 武宏 福島 陽向

二年四組

加藤 大暉

三年一組

林 このは

三年二組

河合 由花梨 中村 依生
笠 馨太

三年三組

中島 悠吾

三年四組

中村 瀬理 藤野 恭介

硬筆書写技能検定

一年三組

陣野 大翔

二年二組

林 龍之介

二年四組

田中 愛紗

毛筆書写技能検定合格者

一年一組

橋田 真結生



英語検定合格者

一年一組

伊藤 滉起 岩田 吏功
岡村 音緒

一年二組

伊藤 煌太 村上 まどか

一年三組

阿部 楓 野際 称芭

一年五組

中神 七海

二年一組

工藤 航太郎

二年二組

大野 真輝 千葉 幸作
原原 健梧

二年三組

ステンバーグ 叶夢
福島 陽向

二年四組

笠原 知香 橋爪 理央

三年一組

林 このは

三年二組

鈴木 登己



貴方の「将来の夢」は何ですか？

菅井 彩乃



私が高校生の頃の将来の夢は、「教員になること」でした。小学六年生の時の担任の先生への憧れから教員という職業に興味を持ち始めました。そして、高校生になり、その夢がさらに明確になっていきました。

しかし、最終的な大きな目標が定まっても、それに向けて今の自分が何をすればよいのかという事は曖昧でした。そこで、大きな目標を達成するために必要なことを考え、そこから半年、一ヶ月、一週間の小さな目標を定めることにしました。今何をすればよいのか明確になると、何となく行っていた勉強も、夢の実現に向けて必要なものなのだと感じる事ができ、身が入りやすくなりました。

今は年始という、新たに目標を定め、それに向けて何をすればよいのかということを考える丁度よいタイミングです。進路に限らず、日常生活などについてでも構いません。自分なりの目標を設定し、そこから今自分は何をすべきなのかを考え、日々を有意義に過ごしてください。

